2026. 12. 4 fri - 5 sat

Day1: 13:30~17:10 at ホテル国際21 3階 千歳
Day2: 10:30~16:00 at 長野県立大学 三輪キャンパス

WE-Nagano Global Conference

すべての「わたし」を
創造的に生きる社会・未来

第3回を迎える WE-Nagano Global Conference。
3年間の活動の一区切りとなる今年は、原点である「すべての『わたし』を
創造的に生きよう」というメッセージに立ち返ります。国内外の専門家や
実践者、参加者の皆さんとの対話を通じて、一人ひとりの「わたし」の
可能性と、これからの社会・未来を共に考える２日間です。

[会場] 12月4日：ホテル国際21 3階 千歳（長野県長野市大字南長野県町 576）／ 12月5日：長野県立大学 三輪キャンパス（長野県長野市三輪 8-49-7）* 公共交通機関をご利用ください。
[問合せ] 長野県立大学 WE-Nagano 実行委員会
we-nagano@u-nagano.ac.jp

Message

すべての「わたし」を
創造的に生きよう。

「わたし」を生きよう。

社会からの期待や理想に、自分を当てはめようとしたり、
誰かの想いを優先して、自分のことを後回しにしてしまったり。

自分の中の私とつながり、違いを恐れず、自分の可能性を拓くこと。
私とつながる地域、ビジネス、グローバル社会について考えること。
地球や、人間以外の生き物たちの声にも、耳を傾けてみること。

「わたし」たちの、より良い未来を創造しよう。

いつもと違う一歩を踏み出す時は、不安や恐怖があるかもしれない。
より良い社会や未来をつくっていくための、新たな一歩を踏み出す勇気や希望。
そして、不安や恐怖を超えていける仲間を得ること。

より良い社会に向けて、すべての「わたし」が創造的に生きることを
WE-Nagano は、応援します。

About

Women Entrepreneurs Nagano
(WE-Nagano)

WE-Nagano は、地域に根ざしながら、グローバルな視点を持ち、
より良い社会や未来をつくっていくために議論や交流を行っていく、長野県立大学のプロジェクトです。

名称の “W”（Women）は、これまでの男性社会的なシステムとは異なる視点という意味での
女性的リーダーシップの必要性や、現代社会で未だ可能性を拓ききれていない女性という
存在への期待を表現しています。また、“E”（Entrepreneurs）には、起業家精神、
つまり、自らの可能性を信じ、新たな世界を拓いていく姿勢を、
事業を起こす人に限らずすべての人が持てるようにという願いを込めています。

Day1: 2026. 12. 4 fri
ホテル国際21 / 3 階 千歳

13:30　Opening / Keynote Talk
- 佐藤 慎次郎（公立大学法人長野県立大学 理事長）
- 渡邉 さやか（長野県立大学大学院 准教授）

14:00　Session 1

調査から見えてきたジェンダー視点からの長野県の現在地 ～「わたし」たちが創造的であるために何ができるのか～

今年度、長野県では初めてジェンダーに関する世論調査が実施されました。世論調査に加えて、県内の一部企業や自治体を対象として行ったアンケート結果など、ジェンダーという視点から見えてくる長野県の現在地について考えます。また、長野県上田市を中心として活動する " ジェンダーギャップ解消や DEI（多様性・公平性・包括性）推進に取り組む担当者のための学び合いコミュニティ " である UGGA + の担当者のお二人や、ジェンダー・ケアをめぐる構造的な課題に取り組むSIIFの担当者から実際に始まっている動きについてのお話をお聞きします。

私たちは、どのようにして「わたし」を主語にしながら企業や地域を変えていくことができるのか、誰もが自分らしく、創造的に働き、生きられる企業や社会のあり方を参加者と共に考えます。

15:45　Session 2

人口減少社会において求められる企業・自治体の未来 ～異なる「わたし」がイノベーションを起こすとはどういうことか～

- 鳥居 希（株式会社バリューブックス 代表取締役）
- Kang Minah（梨花女子大学（韓国）行政学科長・教授）
- Jeremy Hunter（クレアモント大学院大学（米国）Peter F. Drucker School of Management 教授）
- 三隅 隆司（長野県立大学 学長）
- 渡邉 さやか（長野県立大学大学院 准教授）

人口減少が進む中、企業や自治体にはどのような変革が求められるのでしょうか。ジェンダーに限らず、企業や自治体はどのように多様性を捉えながら考え行動していくことが求められるのか。長野県内の企業経営者である鳥居さんに加えて、韓国の公共政策にも関わるカン・ミナさん、米国でリーダーシップの重要なスキルとしてセルフマネジメントを教えるジェレミー・ハンターさんをお迎えし、一人ひとりの違いや可能性を尊重することが、働きがいや新たな価値創造、地域のイノベーションにどうつながるのかを探ります。

17:00　Wrap-up
- 渡邉 さやか（長野県立大学大学院 准教授）

同日開催！

信州ベンチャーコンテスト 2026

2026 年 12 月 5 日（土）12:00 ～ 17:00

場所：長野県立大学 三輪キャンパス

主催：信州ベンチャーコンテスト実行委員会

一般部門、大学生部門、高校生部門を設けて、「信州を元気にする」新規のビジネスプランやビジネスアイデアを発表していただき、優れたプランやアイデアを表彰します。

Day2: 2026. 12. 5 sat
長野県立大学 / 三輪キャンパス

10:30　Opening
- 渡邉 さやか（長野県立大学大学院 准教授）

10:45　Session 3

「わたし」の可能性を広げるアントレプレナーシップ ～グローバル視点からイノベーションをいかに生み出すか～

- 阿部 守一（長野県知事）
- 松田 崇弥（株式会社ヘラルボニー 代表取締役／Co-CEO）
- 草本 朋子（白馬インターナショナルスクール 創設者／理事長）
- 渡邉 さやか（長野県立大学大学院 准教授）

一人ひとりの想いや挑戦から、新しい価値を生み出すアントレプレナーシップ。岩手県から世界に向けて福祉を起点として新たな文化の創出を目指すヘラルボニー松田さん、長野で新しい教育のあり方を実践するリーダーである草本さん、そして長野県知事の阿部さんが、それぞれの経験や視点から語り合います。地域から世界へ可能性を広げ、イノベーションを生み出すために何が必要かを考えます。

13:00　Session 4

長野県立大生と未来を考える対話 ～「創造的に生きる」とは～

- 長野県立大学生（発信力ゼミⅡ６組）
- 神戸 和佳子（長野県立大学大学院 准教授）
- 宮田 晃碩（長野県立大学 講師）

WE-Nagano のテーマは「すべての『わたし』を創造的に生きよう」です。このセッションでは、「創造的に生きる」ことについて、参加者自身の言葉で考えていきます。長野県立大学で「対話」を学ぶ１年生が皆さんをサポートします。多様な視点や価値観に触れながら、自分と社会、そして未来とのつながりを考えます。

14:15　Session 5

テクノロジーと「わたし」から未来をつくる ～ AI 時代において、いかに私たちは共創していけるのか～

- 近藤 にこる（株式会社 EdFusion 代表取締役／株式会社 ButterflyBase 取締役）
- 若宮 和男（株式会社メタバースクリエイターズ 代表取締役）
- 佐藤 慎次郎（公立大学法人長野県立大学 理事長）
- 戸村 朝子（信州大学学術研究・産学官連携推進機構 特任教授）

AI をはじめとするテクノロジーが進化する中、私たちはどのような未来を創っていけるのでしょうか。中学生で起業した近藤さん、アートとビジネスをつなぐ実践者である若宮さん、大学理事長の佐藤さんが、世代や分野を越えて対話します。テクノロジーの可能性と人間ならではの創造性を見つめながら、多様な「わたし」が共に未来をつくる可能性を探ります。

15:30　Closing Session

すべての「わたし」を創造的に生きるために ～ 3 年間で何ができたのか、これから何ができるのか～

- 佐藤 慎次郎（公立大学法人長野県立大学 理事長）
- 三隅 隆司（長野県立大学 学長）
- 大室 悦賀（長野県立大学大学院 教授）
- 渡邉 さやか（長野県立大学大学院 准教授）
- 神戸 和佳子（長野県立大学大学院 准教授）

WE-Nagano Global Conference は、今年で3年目を迎えます。一区切りとなる今回、これまでの活動や対話を振り返り、そこから生まれた成果や気づきを共有します。「すべての『わたし』を創造的に生きよう」という原点に立ち返り、これから私たちに何ができるのか、未来への可能性を共に考えます。

Speakers & Moderators



佐藤 慎次郎 Sato Shinjiro
公立大学法人長野県立大学 理事長
Opening / Keynote Talk / Session 5 / Closing Session

1960年生まれ。東京都出身。東京大学経済学部卒。米デューク大学MBA取得。テルモ株式会社において、経営企画室長、心臓血管カンパニープレジデントを歴任、カテーテル事業に携わる。2017年から 2024 年まで同社代表取締役社長CEO。グループ経営の強化に努め、同社のグローバル展開を加速させる。2024年 10 月から現職。日本電気株式会社社外取締役。



渡邉 さやか Watanabe Sayaka
長野県立大学大学院
ソーシャル・イノベーション研究科 准教授
Opening / Session 1,2,3 / Closing Session

長野県長野市出身。外資系コンサルティング会社を経て、2011年独立。起業家として被災地での事業開発に取り組む。その他、アジア女性社会起業家ネットワークを構築、国内外で多くの女性起業支援プロジェクト等をけん引。国内外での社会的事業立ち上げや経営に携わる。2022年から長野県立大学院で教員を務める。



鳥居 希 Torii Nozomi
株式会社バリューブックス 代表取締役
Session 2

2015年、書籍の買取・販売を行うバリューブックス入社、取締役。B Corp™ 認証取得に向けて取り組む。『B Corp ハンドブック よいビジネスの計測・実践・改善』を黒鳥社との共同プロジェクトで翻訳、2022年出版。2024年 B Market Builder Japan 設立・共同代表。同年、ジェンダーギャップ解消を目指しバリューブックス代表取締役に就任、B Corp 認証を取得。2026年5月より英治出版株式会社社外取締役。



カン ミナ Kang Minah
梨花女子大学（韓国）行政学科長・教授
Session 2

梨花女子大学（韓国）英語英文学科卒。同大学でマーケティング修士号、ハーバード大学でケネディスクール公共政策修士号、同大学院で医療政策学博士号を取得。梨花女子大学教授として公共政策・ガバナンスを研究し、2018 ～ 2022 年に韓国監査院初の女性監査委員、2021年には院長代行を務めた。KAIDEC 会長や国際開発協力委員会委員を歴任、グローバルヘルスやジェンダー政策分野で活躍している。



ジェレミー ハンター Jeremy Hunter
クレアモント大学院大学（米国）
Peter F. Drucker School of Management 教授
Session 2

ハーバード大学ケネディスクールで公共政策修士、シカゴ大学で人間発達学博士を取得。フロー理論の提唱者ミハイ・チクセントミハイと Quality of Life Research Center を共同設立。20年以上にわたりエグゼクティブ・リーダー開発に従事し、女性リーダー育成やダイバーシティ推進プログラムを手掛ける。Executive Mind Leadership Institute 創設ディレクター、Transform LLC 共同創業者兼パートナー（日本）としても活動している。



神戸 和佳子 Godo Wakako
長野県立大学大学院
ソーシャル・イノベーション研究科 准教授
Session 1,4 / Closing Session

学問としての「哲学」を大学の外にひらき、社会のさまざまな現場で生かすことをテーマに、研究と実践に取り組む。日本で「哲学対話」と総称される活動を主な対象とし、学校、地域社会、ビジネス、表現・メディアへと活動を展開している。共著に『子どもの哲学』シリーズ（毎日新聞出版）。NHKドラマの倫理監修も担当（「虎に翼」など）。



宮田 晃碩 Miyata Akihiro
長野県立大学 グローバルマネジメント学部 講師
Session 1, 4

専門は哲学（現象学）。ハイデガーの哲学や石牟礼道子の文学を手がかりに、言葉と人間の共同性を研究する。専門分野や研究者・市民の垣根を越えた協働研究にも携わり、学校や地域などで哲学対話を実践。異なる立場の人々が互いの知を尊び、ともに考える場づくりに取り組む。著書に『『苦海浄土』を読む――沈黙をひらく哲学』（かもがわ出版、2026年）。



三隅 隆司 Misumi Takashi
長野県立大学 学長
Session 2 / Closing Session

1962年生まれ。一橋大学商学部卒業後、同大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得。1990年に一橋大学商学部専任講師となり、助教授などを経て大学院経営管理研究科教授。その間、商学研究科長、学長補佐、附属図書館長、副学長などを歴任。2025年から一橋大学名誉教授。長野県立大学においては開学時から理事を務める。専門は金融システム論、行動ファイナンスで、日本金融学会、行動経済学会、日本ファイナンス学会に所属。



大室 悦賀 Ohmuro Nobuyoshi
長野県立大学大学院
ソーシャル・イノベーション研究科 教授／研究科長
Closing Session

京都市ソーシャルイノベーション研究所長。専門分野はソーシャル・イノベーション。現在はイノベーションアイディアの創発を数学や哲学などをもとに研究し、それを可能にする思考方法などを教授している。著書には『サスティナブル・カンパニー入門』（学芸出版社）、『ソーシャル・ビジネス・ケース』（中央経済社）、『ソーシャル・イノベーション』（NTT 出版）などがある。

Speakers & Moderators



阿部 守一 Abe Shuichi
長野県知事
Session 3

1960年生まれ。東京大学法学部卒。1984年、自治省（現総務省）入省。2001年長野県企画局長、長野県副知事。2004年総務省過疎対策室長、2007年横浜市副市長、2009年内閣府行政刷新会議事務局次長を経て、2010年９月に長野県知事に就任し現在５期目。全国知事会長。



松田 崇弥 Matsuda Takaya
株式会社ヘラルボニー 代表取締役／Co-CEO
Session 3

4歳上の兄・翔太が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルボニー」を社名に、双子の兄・松田文登と共にヘラルボニーを設立。「異彩を、放て。」をミッションに掲げ、福祉を起点に新たな文化の創造に挑む。ヘラルボニーのクリエイティブを統括。第75回芸術選奨（芸術振興部門）文部科学大臣新人賞受賞。



草本 朋子 Kusamoto Motoko
白馬インターナショナルスクール　創立者／理事長
Session 3

東京大学経済学部卒。米系投資銀行勤務後、UCバークレーでMBA取得。ゴールドマ ン・サックスの投資部門を経て出産を機に金融業界を引退、三児の母となる。 白馬の大自然に魅了され子育てのため2009年に移住。白馬高校魅力化に携わる機会を得て、教育の可能性を感じ、白馬インターナショナルスクールを2022年9月に開校。長野県主宰の「信州学び円卓会議」や、白馬中学校・白馬高校の運営協議会の委員として、公教育にも関わる。



近藤 にこる Kondo Nikoru
株式会社 EdFusion 代表取締役／
株式会社 ButterflyBase 取締役
Session 5

13歳で起業し、現在15歳で株式会社 EdFusion 代表取締役、株式会社 HeroEgg 代表取締役として２社を経営。Forbes JAPAN「テクノロジー領域で世界を変える女性30人」に選出。教育プログラム「ButterflyBase」は文部科学大臣賞を受賞。企業・自治体・教育機関と連携し、AI を活用した次世代人材育成や、子どもたちの挑戦を後押しする教育プログラムの企画・運営に取り組んでいる。



若宮 和男 Wakayama Kazuo
株式会社メタバースクリエイターズ 代表取締役
Session 5

建築士、アート研究者を経てドコモ、DeNA にて複数の新規事業を立ち上げ、2017年 uni'que を創業し 2018「すごいベンチャー 100」選出。2023年4月メタバースクリエイターズを創業、IVS LAUNCHPAD SEED で３位入賞、SBI インベストメント主催 SEA でグランプリと電通賞を W 受賞。新規事業、アート思考、ダイバーシティなどで取材、講演多数。著書に『超・アート思考』など。福岡女子大学客員教授、長野県立大学客員准教授。



戸村 朝子 Tomura Asako
信州大学学術研究・産学官連携推進機構 特任教授
Session 5

化学とメディアアートを学び、資生堂宣伝部を経て 2001年ソニー入社。映画・アニメの新規事業、HQ CSR 部での国際機関・NGO との社会課題解決を経て、近年は技術戦略部門の統括部長として、研究開発でのアーティスト協働を推進。2025年独立後は科学技術・芸術・社会の交点で活動。欧州委員会 STARTS Prize、SIGGRAPH Asia 等の国際審査員を歴任。ARTn CEO / プロデューサー、東京大学大学院情報学環 客員研究員、文化庁 WAN: Art & Tech Creators Global Network アドバイザー。

《 司会 》



保坂 海 Hosaka Kai
長野県立大学グローバルマネジメント学部 ４年
Day 1,2

大学進学を機に長野市に移住。自分のやりたいことをずっと探しながら、野外音楽フェスや読書会などを主催。長野県天竜峡や京都の里山に触れ、人と人ならざるものの関係性に目を向けながら自分自身と社会を見つめなおす経験から、自然と人が共存する社会の姿とあり方への興味が湧き上がり、昨年世界への旅へ赴く。



中野 希友未 Nakano Mayumi
フリーアナウンサー
Day 2

長野市出身。2019年に長野朝日放送に入社。アナウンサーとして報道・情報番組に出演する傍ら、企画やディレクションなど番組制作にも携わる。2023年10月から１年間はテレビ朝日報道局に出向し、報道現場での経験を積む。 現在は、安曇野市の人材コンサルティング会社に勤め、会社員とフリーアナウンサーの二足のわらじ。司会・ナレーション・ラジオパーソナリティ・講演・研修講師など幅広く活動している。

WE-Market

長野県立大学の学生や卒業生、地域の若者や長野県の女性起業家支援事業（sou）、経済産業省の女性ビジネスコンテスト（RED）の参加者を中心とした WE-Market。飲食・雑貨の販売に加えて、地域で起こっている事業について知っていただく機会となります。
ぜひ全てのブースを回って楽しんでください！



長野県立大学小木曽ゼミ　フード

長野市とデリクックちくま様と小木曽ゼミ（長野県立大学健康発達学部）で共同開発したシカカレーナゲットです。学校のカレーフェアで好評につき販売します。

フリーペーパー団体信州 Charm　展示

「大学生を信州人に!」を掲げ、長野県の魅力を届けるフリーペーパー「信州 Charm」を発行しています。地域の人財不足の解消を目指し、長野県を笑顔で元気に!今回は冊子を無料配布します。

コンコント菓子店　フード

米粉 100%・小麦不使用のお菓子と、独自の乳糀発酵素材を活かした「Oishii 糀スイーツ」を長野市若里でつくる菓子店です。素材本来のおいしさを大切に、新しい発酵スイーツをお届けします。

Madame evesnowdrops salon　雑貨

snowdrop のセレクトしたパワーストーン、着物リメイクなど。化学物質過敏症のお話など。

いいづな｜まちの景色を彩る小商い展　小商い

今年で５年目を迎える飯綱町の「小商い講座」。一人ひとりの好きや得意、これまでの経験を生かした活動が、仲間や地域とのつながりを通じて広がっています。新しい仕事や団体が生まれ、まちの景色が少しずつ彩られています。

Bloome｜わたしたちの活動発表会　小商い

「自分らしさを開花!」をテーマに、暮らしとはたらきを応援する Bloome。長野県の小商い体験講座「SOU」での出会いが、新しい仕事や活動、次のワクワクへと発展!仲間たちが商品販売や体験、活動紹介を行います。

株式会社 Coatolie　雑貨

Coatolie は「服を捨てる前に、直すという選択肢を。」をコンセプトに、洋服のお直しを通じて、ものを大切に長く使う文化を広げています。 当日は着物リメイク小物の販売やリペア相談会を通じて、ものを活かす楽しさと新たな価値をお届けします。

宮っこタクシー案内所｜宇都宮子育て支援（株）　展示

栃木県宇都宮市で、地域のタクシー事業者 8 社と連携し、妊産婦や子育て世帯の移動を支援しています。「子育ての選択肢を、移動から広げる」をテーマに、地域ぐるみの子育て支援の仕組みをご紹介します。

SHIKYO　フード

長野県の二つの酒蔵「七笑酒造」「福源酒造」の日本酒をブレンドし、障害のあるアーティスト・Ren Uetani 氏（西駒郷）のアートをパッケージに採用した限定日本酒『Shofuku - 笑福 -』を発売いたします。

WE-Place

託児スペース

日時：12/5　10:30 ～ 16:00
場所：プレイルーム／ひろば

6か月以上のお子さまの託児サービスです（事前申込制）。セッションを楽しんでいただいている間、長野県立大学の施設を活かし、お子さまをお預かりします。
お申込みされた方は、受付でお声がけください。

はたらくくるま

時間：12/5 10:30 ～ 12:00　場所：正面駐車場
提供：直富商事株式会社

実際に街で活躍するパッカー車を展示! 投入作業の模擬体験を行い、楽しみながら、学べる絶好の機会です。
ぜひお近くでご覧ください。



古着等のリユース品回収

時間：12/5 10:30 ～ 15:30　場所：ショールーム
提供：直富商事株式会社

ご家庭で不要になった衣類、台所用品、食器類、贈答品の食器セットがございましたら、ぜひ会場までお持ちください。カンボジア向けのリユース品として有効に活用されます。





3 Years WE-Nagano

～対話の軌跡とこれから～

2024

第１回

女性的視点から創造する、「良い企業」「良い地域」

すべての人が起業家精神を持ち、一人一人がイノベーションを生み出す「わたし」として、グローバルな視座と女性的な視点から地域について考え、国籍・性別・世代・分野などを超えて、共に未来をつくっていく３日間のグローバル・カンファレンスを開催しました。1・2日目は、仏教・アート・ビジネス・アカデミアの多彩な分野のスピーカーによるセッション。3日目は、2日間のセッションの中で生まれてきた気持ちをアートを通して表現し、未来に繋げていくワークショップが実施されました。

2025

第２回

わたしたちが創造する「良い暮らし」「良い地域」

第２回となる Global Conference 2025 では、「良い暮らし」「良い地域」ということをテーマに、日々の生活の中で、わたしたち一人一人はどう生き、どう暮らし、どう地域の未来を創造していくかということについて考えました。海外からのゲストも含め、ジェンダー・国籍・世代・セクターを越えて、多分野の専門家や実務家が集い、皆さんと共につくる時間となりました。

2026

第３回

すべての「わたし」を創造的に生きる社会・未来

原点である「すべての『わたし』を創造的に生きよう」というメッセージに立ち返ります。国内外の専門家や実践者、参加者の皆さんとの対話を通じて、一人ひとりの「わたし」の可能性と、これからの社会・未来を共に考えます。

これから、どんな未来を「わたし」は創造していけるでしょうか？

第３回の Global Conference を通じて感じたこと、見えてきたこと、創造していこうとする社会や未来について、ぜひメモとして記載してください。



主催

共催

長野県立大学 THE UNIVERSITY OF NAGANO

長野県

後援

長野県教育委員会　長野県市長会　長野県町村会

協賛

プラチナ・スポンサー

Team NAOTOMI 直富商事株式会社

シルバー・スポンサー

一般財団法人 伊那谷財団 Ina valley Foundation

八十二長野銀行

食育と給食通で「笑顔」へ発信 ミールケア

東京海上日動

レギュラー・スポンサー

エムケー精工株式会社

協力

ホテル国際 21　sou（長野県女性起業家支援事業）　SIIF（公益財団法人社会変革推進財団）　B Market Builder Japan　UGGA+（ウガプラス）

WE-Place パートナー

直富商事株式会社

メディアパートナー

信濃毎日新聞社　信越放送

※本リーフレットの内容は 2026 年 11 月 5 日時点のものです